



# 見逃さないで!子どものサイン

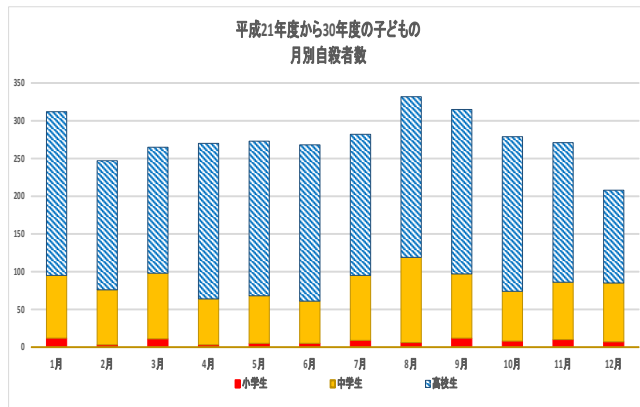


人権同和教育課

## 休み明けの子どもたち

今年は、例年より短い夏休みだったところもあったと思いますが、短いといえども休みというのは、子どもの心に少なからず影響を与えます。

特に、日頃から悩みを抱えている子どもにとって、学校に行かないこの期間は、信頼できる人に相談することが難しく、一人で抱えこんでしまうことも想定されます。そして、夏休み中や直後は子どもの自殺者数が多い時期でもあります。



厚生労働省「自殺対策白書（令和元年）」データより人権同和教育課作成

## 子どもの命を守るために!

様々な悩みや苦しみをもつ子どもの背景に思いをめぐらし、問題の解決を図っていくため、私たち教師が寄り添うことが大切です。

不安やイライラが増し落ち着きがない、成績が急に下がる、様々な身体の不調を訴えるなど、サインを送っている子どもはいませんか？

## 命の危険が迫る子どもへの対応

「死にたい」と訴える子どもと話すとき、次の4点を心がけましょう。

### TALKの原則

- ◆ **Tell** …… 言葉に出して心配していることを伝える。
- ◆ **Ask** …… 「死にたい」という気持ちについて、率直に尋ねる。
- ◆ **Listen** …… 絶望的な気持ちを傾聴する。
- ◆ **Keep safe** …安全を確保する。

### 《大切にしてほしい指導のポイント》

#### 1 ひとりで抱え込まない

多くの大人で子どもを見守り、共通理解を図りながら対応することで、子どもに対する理解を深めるとともに、子どもと向き合う自分自身の不安感の軽減にもつながります。

#### 2 急に子どもとの関係を切らない

自殺の危険の高い子どもに親身に関わっていると、依存してくることも少なくありません。子どもと継続的な信頼関係を築くことが大切です。

#### 3 「秘密にしてほしい」という子どもへの対応

自殺の危険はひとりで抱えるには重すぎます。子どものつらい気持ちを尊重しながら、信頼できる方に相談することが大切です。

#### 4 手首自傷（リストカット）への対応

自傷行為は、将来起こるかもしれない自殺の危険を示すサインです。あわてず、しかし真剣に対応して、関係機関につなげることが大切です。

### まずは私自身から

**違いを認め合い、一人一人を大切に**する学級づくりを!

それぞれの個性や立場を尊重し、互いの違いを認め合う活動や、互いのよさに着目させ、伝え合うような自己肯定感を高める取組を継続して行いましょう。

**M**

子どもたちのありのままを「見つめる」

**O**

気になった子どもの背景に「思いをめぐらす」

**m**

見えてきた課題と「向き合う」



日頃から、「Mom」による子どもとの深い関わりを大切に!



### 安心して相談できる窓口

- ◆ 鹿児島教育ホットライン 24
- ◆ 子どもの人権 110 番
- ◆ 子どもの人権SOSミニレーター

0120-0-78310 (全国统一フリーダイヤル)

0120-007-110 (人権相談)

※鹿児島県地方務局から、直接学校に送られています。

